

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

充実した取組でいっぱいの「文理科学科」



福知山高校 文理科学科では東大・京大・国立大医学部等の超難関大進学を目指して、レベルの高い授業が行われています。また、大学での学習に繋がる**「真の学力」**を育成することを目指して色々な取組も実施しています。

高大連携授業

文理科学科では各分野の専門家の特別講義をいくつも実施しています。まず、四月には神戸大学農学部教授の土佐幸雄先生の特別講義 **「大学における研究と創造―農学の視点から」**を実施しました。土佐先生は京都府北部の府立高校を卒業された後、京都大学農学部に進学され、現在神戸大

学で植物病理学を研究されています。福知山高校 文理科学科の **「真の学力」**を育成するという理念に賛同していただき、特別講義を行っていただきました。講義の後には次の四つの課題

- ・農業問題
- ・食糧自給問題
- ・遺伝子組み換え作物の問題
- ・環境ホルモン問題

が出され、生徒達はグループで賛成・反対の両面から研究し、研究結果をクラスの前で発表しました。また、六月には京都大学教育学部教授の藤原勝紀先生の特別講義 **「こころの働きと人間関係―臨床心理学への招待」**を実施しました。「こころはどこにあるのか」など不思議で楽しい講義でした。事後研究もしっかり行い理解を深めました。

そして、九月には、テレビ番組 世界一受けたい授業にも出演された京都大学総合人間学部教授の鎌田浩毅先生の特別講義 **「火山はすごい」**を実施しました。鎌田先生からは

大山」についてだけでなく、先生が大山学」に没頭した経験から、大間は知的好奇心を持っているので、学問に興味を持つと真面目になる。興味を持って取り組むとそれまでの十倍以上の能力が出る。」と教わりま

中国研修旅行

文理科学科では二年生の六月に、五泊六日の行程で中国（北京）に研修旅行に行きます。世界的文化遺産や、急速な発展を支える最先端研究機関や大学を見学します。また、日系企業も訪問し、海外で活躍されている日本人の姿を見てきます。

その後、火山についての理解を深めるために、夜久野町の玄武岩公園と田倉山宝山にフィールドワークに行きました。十一月には神戸大学国際文化学部教授の合田濤先生の特別講義 **「中間系の諸問題―文化人類学の現代的課題」**を実施しました。中国の歴史や地理をしっかりと勉強します。

夏休み宿泊研修

夏休みには二泊三日の行程で宿泊研修を実施しました。兵庫県佐用町にある高輝度光科学研究センターや、日本一の望遠鏡のある西はりま天文台を見学し、施設の方からの講義を受講しました。神戸大学では大学施設を見学したり、理学部教授の吉川潮先生の遺伝子情報に関する特別講義を受講しました。昼食は学生食堂で大学生に混じって食べ、大学生気分も味わいました。また、大阪地方裁判所では、実際の刑事裁判を傍聴しました。裁判長が判決を下す時には緊張したという生徒もたくさんいました。朝日新聞大阪本社は新聞製作の過程を見学し、新聞記者の浅野稔氏からお話を聞きました

生徒の声

授業のスピードが速いし、周りの友達もみんな勉強ができそうなので最初は不安でした。しかし、今では「もっと頑張ろう」と思えるようになりました。「みらい学」でも深く学習することができて毎日充実しています。 (男子)

授業の進むのがとても速くて最初はびっくりしました。けれども高校の授業にも慣れ、文理科学科でしかできない取組をたくさん体験し、友達もたくさんできたので毎日が楽しいです。 (女子)